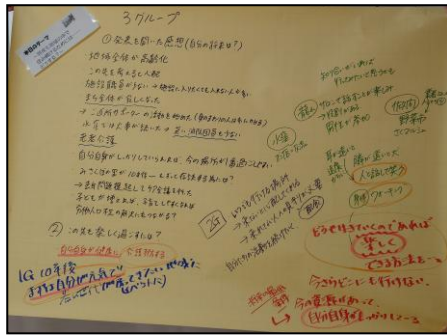


**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター北遠中央  
担当圏域レベル）開催報告書**

<b>1 開催日時</b>	令和 6年 11月 29日（金） 14時00分 ～ 15時30分
<b>2 開催場所</b>	龍山森林文化会館ホール
<b>3 参加者</b>	委員7名 関係機関9名（天竜福祉事業所長寿保険課2名、地域包括支援センター北遠中央3名、 市社協地域支援課1名、市社協天竜地区センター3名） 地域住民13名
<b>4 協議の内容</b>	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 天竜福祉事業所長寿保険課 課長 谷野聡</li></ul> <p>3. 地区部会の取り組み</p> <p>【佐久間】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ご近所サポーター養成講座が全3回で実施された。</li></ul> <p>【水窪】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 水窪あんしんネットワーク会議が実施された。水窪中学校と共同で実施した。</li><li>・ 認知症サポーター養成講座や高齢者ひとり歩き模擬訓練に中学生も参加した</li></ul> <p>【龍山】</p> <p>たつやマルシェを2回実施した。2回目は1回目で要望のあった床屋や100円喫茶を取り入れた。</p> <p>4. 各地区の社会資源の状況について</p> <p>【佐久間・さくまの里】</p> <p>【水窪・みさくぼの里】</p> <p>【龍山・龍山デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 共通する課題として職員の不足や高齢化が挙げられた。（特に看護師が深刻）</li><li>・ 介護福祉士などに関しては採用後育成をするなど工夫している。</li><li>・ 職員不足により利用者も定員に対して減らさざるを得ない状況がある。</li><li>・ 緊急に入所を希望される相談者に対しては他施設の紹介やショートステイによる対応などしている。</li><li>・ 冬季のデイサービスや、ホームヘルパーの利用に関して、水窪地区佐久間地区では路面凍結や積雪などで送迎や移動についてリスクがあり、不安を感じる人が多い。</li><li>・ 地域外から採用があっても地域内に居住できる場所がないという問題が発生する。</li><li>・ 他地域の施設の利用や紹介を行っている。</li></ul> <p>5. いどばた会議</p> <p>地域の福祉施設の状況から、介護の必要が発生しても、直ちに介護保険のサービスが地域で提供されない可能性があることが分かった。そのうえで、「将来も地域の中で住み続けるために…どうする？」というテーマで、グループで話し合った。</p>

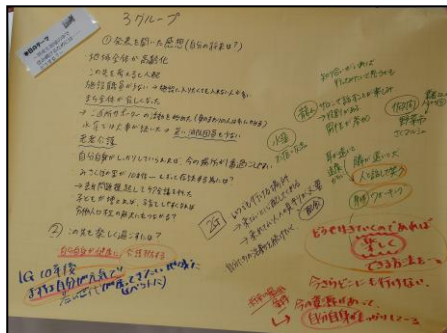


# 1 グループ



- ・地域は人口減少しているが、50代の住民に目を向けてもらえるようになれば…。
- ・個人個人としては元気に楽しくすごすことが目標になるという結論になった。そのためには居場所など人が集まり、おしゃべり、交流ができることが大切。男性は、仕事や作業があることで、参加しやすくなるという意見も出た。
- ・高齢になるとお手伝いできないという理由で集まりに参加しなくなる人がいるまた距離が遠くなると出不精になりやすい、といった意見が出た。

# 2 グループ

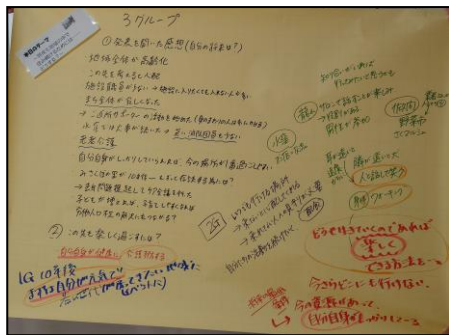


- ・健康を維持するためにも、どう楽しく過ごすのかという事が中心になった。
- ・そのためには楽しく過ごせる居場所が必要。子どもから高齢者までが一緒に過ごせることで交流が生まれ、お互いに気にかけてあう見守りにつながる。
- ・民生委員の定例会でも、民生委員だけで見守りはできない。近所の人による見守りや声掛けが必要。人との付き合いには自ら入ることが大切という話があった。
- ・お弁当の配達に関わっているが、見守りを行う上でも今

後も続けることが必要。

- ・天童ならではの文化や魅力、を伝える機会を作り地域内だけでなく、天童の外からも人を招き、交流を増やす。

# 3 グループ



- ・健康に過ごすことが大切という意見が出た。
- ・健康に過ごすためには、外で出会い、おしゃべりしたり、笑いあったりし、健康維持のためウォーキングをおおい介護予防に努める。

# 5 今後の見通し・必要な対応

次回の生活支援体制づくり協議体北遠中央は代表委員による情報交換会を2月後半に行う予定。